



SH-T04C

取扱説明書 詳細版

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ クイックスタート(本体付属品)

各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項、保証などについて説明しています。

■ 取扱説明書 詳細版(本書)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

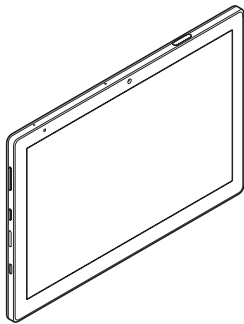
下記URLからアクセスすることができます。

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/>

※最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書においては、「SH-T04C」を「本製品」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書はホームアプリが「AQUOS Home」の場合で説明しています。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。

本体付属品



本体

■ クイックスタート

■ 本製品のご利用について

- 本製品は、日本国内でのみ使用可能です。
- 本製品は、音声通話には対応しておりません。

目次

取扱説明書について	H2
本体付属品	1

注意事項

取り扱い上のご注意	3
内蔵電池の交換について	5
リサイクルについて	6
防水／防塵性能	6

ご使用前の準備

SIMについて	12
microSDカード	13
充電	14
電源を入れる／切る	16
初期設定	17
本製品で利用する暗証番号について	17

基本操作

基本操作	19
画面表示／アイコン	20

ホーム画面

ホーム切替	23
-------------	----

AQUOS Home	23
------------------	----

カメラ／フォト

カメラについて	27
フォト	32

本体設定

設定メニュー	33
タブレット情報	34
お困りのときは	34

データ通信

Bluetooth®機能	36
--------------------	----

付録

トラブルシューティング (FAQ)	37
システム アップデート	42
保証について	44
主な仕様	45
データ通信端末の比吸収率 (SAR) について	46
CAUTION	47
輸出管理規制	47
知的財産権について	47

注意事項

取り扱い上のご注意

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本製品は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品のBluetooth機能は日本国内で利用してください。本製品のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報や注意事項をご確認いただくことができます。
ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]

● 周波数帯について

本製品のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 4: 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
④ XX: 変調方式がその他の方式であることを示します。
⑤ 8: 想定される干渉距離が80m以下であることを示します。
⑥ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の無線LAN機能は日本国内で利用してください。本製品の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報や注意事項をご確認いただくことができます。
ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]

● 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本製品の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
 - ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
 - ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
 - ④ 4:想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑤ ■■■■■ ■■■■■ :2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。本製品の無線LANで設定できるチャネルは1~13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
- 利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch)

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

GPS/ナビについて

現在地の正確な位置測定のため、スマートフォンが自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得する機能(当該機能のサービス提供者にデータが送信されます)が搭載されており、アシストデータの取得にパケット通信料がかかる場合があります。

注意

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って使用することは、罰則の対象となります。
- Bluetooth・無線LAN(WLAN)機能は日本国内で利用してください。
本機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。

使用状況や動作環境によって異なりますが、充放電を繰り返すうちに劣化します。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは新しい内蔵電池と交換する必要があります。

本製品の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、裏表紙のお問い合わせ先へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本製品に使用しているリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては裏表紙のお問い合わせ先まで、ご相談ください。



Li-ion00

■ 本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前に「すべてのデータを消去(初期設定にリセット)」を行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください。

防水／防塵性能

SH-T04Cは、microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに通信端末を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-T04Cが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通信ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6L/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(※P.10「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

● 風呂場で使用できます。

- 常温の水道水以外の液体(温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。

故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。

- 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。

なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。

- 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(※P.10「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。

風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。

- 急激な温度変化は、結露の原因となります。

寒い場所から暖かい風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。

また、風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。故障の原因となります。

- 風呂場では絶対に充電を行わないでください。
- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、データ通信ができない場合があります。
- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- microSDカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- microSDカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、microSDカードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、本製品をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については裏表紙のお問い合わせ先までご連絡ください。

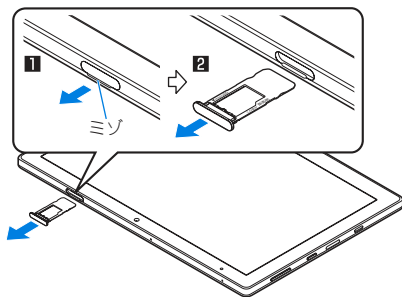
■ microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた

- 端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し／取り付けは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

取り外すとき

1 microSDカードトレイを本体から引き出す

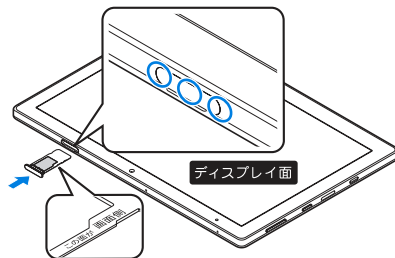
- ミゾに指の先をかけて手前に引き出し(1)、ゆっくりと水平に引き出してください(2)。
カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



取り付けるとき

1 ディスプレイ面を上向きにして、microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- O部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイは「画面側」の刻印を上向きにして、ゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



注意事項

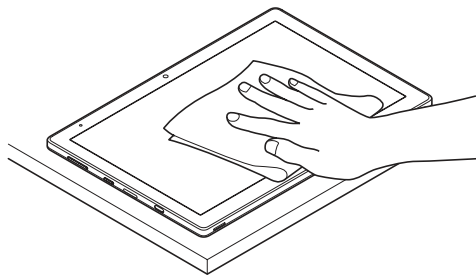
- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- microSDカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6L/分を超える)を直接当てないでください。SH-T04CはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
 - 温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
 - 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
 - 海水やプールの水には浸けないでください。
 - 砂／泥の上に直接置かないでください。
 - 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
 - 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
 - 本製品は水に浮きません。
 - 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
 - マイク、スピーカー、外部接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴などを先の尖ったものでつつかないでください。
 - 端末が水に濡れた状態で外部接続機器を挿さないでください。故障の原因となります。
 - 指定の充電用機器(別売)は防水／防塵性能を有しておりません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

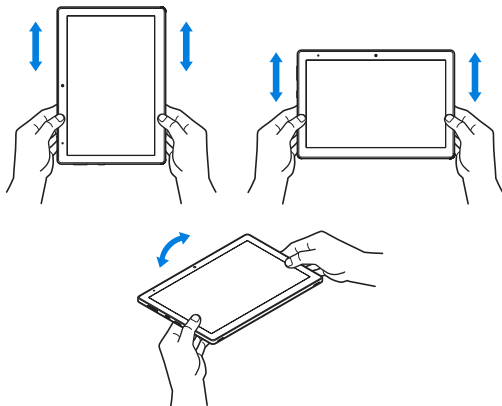
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末を安定した台などに置き、端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

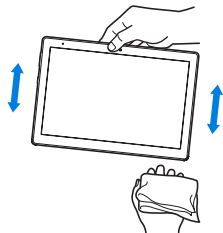


- 2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り、端末の上下または表裏を持ち替えて、再度20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



3 マイク、スピーカー、キー、外部接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいたることがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

ご使用前の準備

SIMについて

本製品はeSIM(ダウンロード型SIM)に対応しています。

- 本製品では、eSIMのみご利用になれます。
- eSIMを設定していない場合は、パケット通信などの機能を利用できません。
- SIMには、PINコードという暗証番号があります(「P.17」[PINコード])。

eSIM

本製品は、eSIMに対応しています。eSIMのご利用には設定が必要です。

■ eSIMのSIM情報を設定する

はじめてeSIMを利用するときは、通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定する必要があります。

- eSIMの追加に必要な情報については、eSIMの提供元までお問い合わせください。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]
▶[ネットワークとインターネット]▶[SIM]▶
[SIMの追加]

2 [eSIMを設定]／[他のデバイスからSIMを移行する]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

- お客様ご自身で、eSIMに登録されたデータは、microSDメモリカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカード

本製品内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- 本製品が対応するmicroSDカードの情報については、下記URLからアクセスすることができます。
<https://k-tai.sharp.co.jp/support/>
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

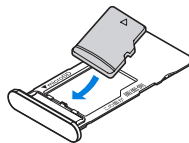
■ 取り付けかた

- microSDカードトレイの取り外し/取り付け方法について詳しくは、「microSDカードトレイの取り外し/取り付けかた」(P.8)をご参照ください。
- microSDカードは必ずmicroSDカードトレイに取り付けてから本体に差し込んでください。

1 microSDカードトレイを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、microSDカードトレイに取り付ける

- microSDカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- microSDカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



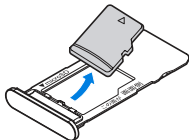
3 ディスプレイ面を上向きにして、microSDカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.8)をご参照ください。

1 microSDカードトレイを取り外す

2 microSDカードをmicroSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、microSDカードトレイを本体に取り付ける

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本製品に対応する最新の充電機器については、下記URLからアクセスすることができます。

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/>

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.45「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます(通電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます)。
- 充電中にロック画面や設定画面に表示される充電完了までの時間は、目安です。
- 充電完了後、指定の充電用機器(別売)を長時間挿したままにすると、充電量が減少します。この場合、充電用機器から再び充電を行います。充電用機器を端末から取り外すタイミングによっては、内蔵電池が本来の充電量より少ない場合があります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少していることがあります。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。

- 本製品の温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

ACアダプターで充電

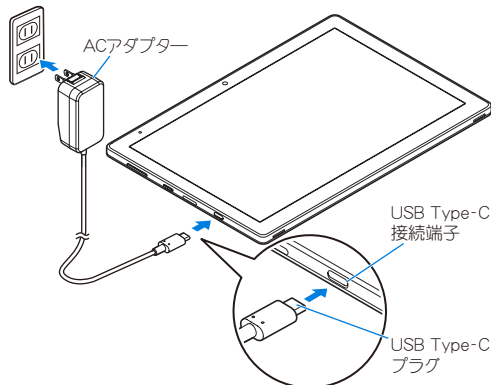
必ず利用するACアダプターの取扱説明書を参照してください

- 次の操作はACアダプター SH-AC05(別売)を使用して説明しています。

1 ACアダプターの電源プラグを起し、コンセントに差し込む

- 根元まで確実に差し込んでください。

2 ACアダプターのUSB Type-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む



3 充電が完了したら、USB Type-Cプラグを端末のUSB Type-C接続端子から水平に抜く

4 電源プラグをコンセントから抜く

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)などで接続すると、端末を充電することができます。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 □(電源キー)(3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときは初期設定を行ってください(P.17「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 □(電源キー) + □(+)

- 電源メニューが表示されます。

2 [電源を切る]

- [再起動]をタッチすると、本製品の電源が切れたあと、自動的に起動します。

■ 画面を点灯／消灯する

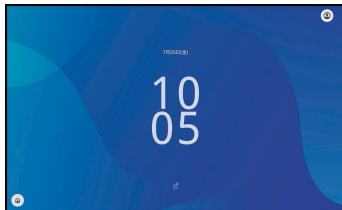
□(電源キー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、画面が消灯します。

画面が消灯しているときに□(電源キー)を押すと、画面が点灯します。

■ 画面ロックを解除する

画面を点灯すると、ロック画面が表示されます。

- [□]が表示されている場合:画面を上にはスワイプすると、画面ロックが解除されます。
[□]が表示されている場合:画面を上にはスワイプして[画面ロック]で設定したパスワードなどを入力すると、画面ロックが解除されます。



ロック画面

初期設定

本製品の電源を入れたあとに[ようこそ]と表示されたときは、画面の指示に従って初期設定をしてください。

本製品で利用する暗証番号について

本製品には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

■ 画面ロック用PIN/パスワード

本製品の[画面ロック]を使用するための暗証番号です。

■ PINコード

PINコードは、第三者によるSIMの無断使用を防ぐため、本製品の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたSIMをお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとSIMが完全にロックされます。その場合は、eSIMの提供元までお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]
▶[セキュリティとプライバシー]▶[その他の
セキュリティとプライバシー]▶[SIM ロック]
- 2 [SIM をロックする]をONにする
- 3 PINコードを入力▶[OK]

● 設定はeSIMに保存されます。

PINコードを変更する

[SIM をロック]を設定しているSIMのみ変更できます。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]
▶[セキュリティとプライバシー]▶[その他の
セキュリティとプライバシー]▶[SIM ロック]
- 2 [SIM PINの変更]
- 3 現在のPINコードを入力▶[OK]
- 4 新しいPINコードを入力▶[OK]
- 5 もう一度新しいPINコードを入力▶[OK]

PINロックの解除

- 1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 2 新しいPINコードを入力
- 3 もう一度、新しいPINコードを入力

基本操作

基本操作

タッチパネルの操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

● 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乘せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるアイコンや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っ触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



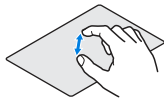
■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる（ピンチアウト）／狭める（ピンチイン）ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や新着メールの有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン：新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン：電池残量や電波状態など端末の状態を表します。

お知らせアイコン ステータスバー ステータスアイコン



- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。

■ 主なお知らせアイコン一覧

: 電池残量が約20%以下

: 新着SMSあり

: 新着Gmailあり

: エラー表示

● 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

: アラーム情報あり

: カレンダーのスケジュール通知あり

: microSDカード表示

: 本体メモリの空き容量低下

Bluetooth表示 (P.36「Bluetooth®機能」)

: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり

: データ受信要求あり

データ送受信表示

: 送信表示

: 受信表示

: アプリのアップデートあり

: パブリック ネットワークあり

: システム アップデートあり (P.42「システム アップデート」)

■ 主なステータスアイコン一覧

: 電池残量表示

- 通電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます。
- 電池マークの右に電池残量がパーセントで表示されます。パーセントの表示／非表示はバッテリーの[バッテリー残量]で切り替えられます。

電波状態表示

~ : レベル表示(5段階)

: 圏外

- データ受信中は[▼]、データ送信中は[▲]が重なって表示されます。
- 接続したネットワークによっては、電波マークの左側に[5G]／[4G]などネットワークに応じたマークが表示される場合があります。

Wi-Fi電波状態表示

~ : レベル表示(5段階)

: インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中

- データ受信中は[▼]、データ送信中は[▲]が重なって表示されます。

: 機内モード中

: [Wi-Fiテザリング]が有効

マナーモードのモード表示

: マナーモード(パイプ)

: マナーモード(ミュート)

- [Manner mode icon]は[パイプレーション モード]のときにアイコンを常に表示]をONにすると表示されます。

:サイレント モード設定中

:Bluetooth通信中

:位置情報をGPSで測位中

 /  :カメラ／マイク利用表示

- カメラ／マイクの利用開始時に表示されます。カメラ／マイクを利用中は緑色の点で表示されます。
-

ホーム画面

ホーム切替

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - AQUOS Home
ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。
 - AQUOSかんたんホーム
シンプルなレイアウトで、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[ホーム切替]

2 項目を選ぶ

- **ホーム切替**: ホームアプリを切り替えます。
- **かんたんホーム一括切替**: ホームアプリを「AQUOSかんたんホーム」に切り替え、フォントサイズを[特大]に設定します。

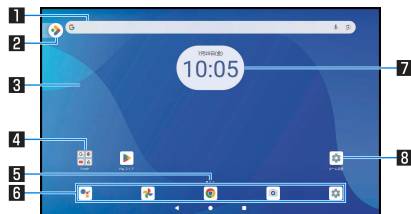
AQUOS Home

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。

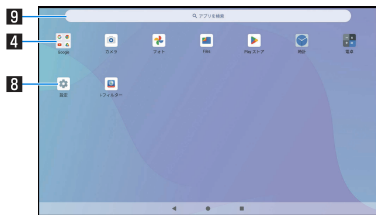
ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ／機能のショートカット／ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ／機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリが表示されます。

AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上にはワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 Google 検索バー

- Google 検索やGoogle Lens™を起動できます。

2 エンターテインメントスペース表示ボタン

- ホーム画面で右にフリックしても、エンターテインメントスペースが表示されます。

3 デスクトップシート

- 左右にフリックするとページを切り替えることができます。

4 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。
フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

5 ページインジケータ

- デスクトップシートの現在の表示位置を表示します。
※ 画面をフリックするときのみ表示されます。

6 お気に入りトレイ

- お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

7 ウィジェット

8 アプリ

9 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。

ホーム画面の管理

■ アプリ／ウィジェット／フォルダの移動

1 ホーム画面／アプリ一覧画面でアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- 他のアプリアイコンと重なる位置にドラッグすると、フォルダを作成できます。
- ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを[削除]までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを[アンインストール]までドラッグするとアンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチしてドラッグすると、画面上部に[ホーム画面に追加]が表示されます。[ホーム画面に追加]までドラッグすると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの追加

- 1 ホーム画面でアプリアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ウィジェット]
- 2 アプリをタッチ▶ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ
 - ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

- 1 ホーム画面／アプリ一覧画面でアプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選ぶ
 - 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
 - 機能のショートカットをロングタッチ▶登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定

- 1 ホーム画面でアプリアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 設定する壁紙を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

ホーム画面の設定

1 ホーム画面でアプリアイコンなどがない部分を ロングタッチ▶[ホームの設定]

2 項目を選ぶ

- **ホーム画面グリッド**: ホーム画面・アプリ一覧画面に表示するアイコンの数を設定します。
- **通知ドット**: アプリの通知があるときに、アプリアイコンの右上に通知ドットを表示するかなど、通知について設定します。
- **通知ドットに件数表示**: 通知ドットに件数を表示するか設定します。
- **ホーム画面にアプリのアイコンを追加**: 新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリアイコンを追加するか設定します。
- **エンターテインメントスペースの表示**: エンターテインメントスペースを表示するか設定します。
 - ・ エンターテインメントスペースは、ホーム画面でエンターテインメントスペース表示ボタンをタッチ、または右にフリックすると表示されます。

カメラ／フォト

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数についてはP.45「主な仕様」

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。

- 電池残量が少ないと、撮影中に電源が切れる恐れがあります。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影解像度を大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、[ちらつき防止]をONにしたりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できることがあります。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本製品を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影解像度

設定できる撮影解像度は次のとおりです。

静止画撮影

リアカメラ	4:3	8メガピクセル
	16:10	7メガピクセル
	16:9	6メガピクセル
	1:1	6メガピクセル※
インカメラ	4:3	8メガピクセル
	16:10	7メガピクセル
	16:9	6メガピクセル
	1:1	6メガピクセル※

※撮影メニューが[スクエア]の場合の解像度です。

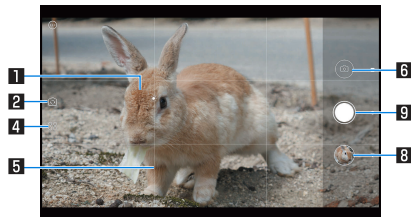
動画撮影

リアカメラ	FHD 1080p
	HD 720p
	SD 480p
インカメラ	FHD 1080p
	HD 720p
	SD 480p

撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影画面

1 フォーカスマーク

- 被写体をタッチするとフォーカスマークが表示されます。被写体にフォーカスが合うと、フォーカスマークの右側に [] が表示されます。
 - [] を上下にスライドすると、明るさを調整できます。
 - カメラの向きを変えるなどしてオートフォーカスが動作したり、別の被写体をタッチしたりするとフォーカスは解除されます。また、明るさの設定も解除されます。
- 静止画撮影時に人の顔を検出した場合は、自動でフォーカスマークを表示します。

2 インカメラ／リアカメラ切替

3 セルフタイマー

- タッチするとセルフタイマーの設定を [OFF] / [3秒] / [5秒] / [10秒] から選択できます。

4 撮影メニュー

- 利用できる撮影メニューが表示されます (P.30「撮影メニューの切替」)。

5 ガイド線

- [ガイド線] を設定していると表示されます (P.31「カメラの設定」)。

6 静止画撮影／動画撮影切替

- タッチすると静止画撮影／動画撮影を切り替えることができます。

7 静止画撮影

- 静止画を撮影します。

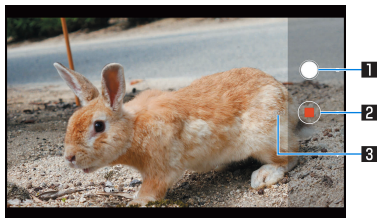
8 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。

9 動画撮影開始

- 動画を撮影します。

■ 動画撮影中画面



1 静止画撮影

2 動画撮影停止

3 撮影時間

■ 撮影メニューの切替

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]

2 [📷]

3 項目を選ぶ

- **スクエア**: 正方形の静止画を撮影します。
- **タイムラプス(3倍速)**: 時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。
- [X] をタッチすると撮影メニューを終了します。

[タイムラプス(3倍速)]について

- リアカメラで利用できます。
- 再生スピードが3倍速になるように設定されています。変更はできません。

静止画の撮影

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]

2 [📷]

- [📷] が表示されているときは、操作する必要はありません。

3 本製品のカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作についてはP.29「撮影画面の見かた」
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン

4 [📷]/[+] / [-]

- [連写撮影] がONの場合は、[📷] をロングタッチ、または [⏏] / [⏏] を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます(P.31「カメラの設定」)。

動画の撮影

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]

2 [📷]

- [📷]が表示されているときは、操作する必要はありません。

3 本製品のカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作についてはP.29「撮影画面の見かた」
- ズーム:ピンチアウト/ピンチイン

4 [📷]/[+] / [-]

- 動画撮影中に[📷]をタッチすると静止画の撮影ができます。

5 [📷]/[+] / [-]

カメラの設定

- 静止画撮影/動画撮影や撮影メニューなどによって、設定項目の有無は異なります。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[カメラ]

2 [📷]/[📷]

3 [⋮]

4 項目を選ぶ

- **写真の手ブレ補正**:手ぶれを補正するか設定します。
- **ちらつき防止**:ONにすると、蛍光灯などによるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。OFFのときは、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。
- **連写撮影**:静止画を連続撮影することができるようにするか設定します。
- **ガイド線**:撮影画面にガイド線を表示するか設定します。
- **インカメラのミラーモード**:インカメラを利用するときに、静止画を左右反転して撮影するか設定します。
- **位置情報付加**:位置情報を付加するか設定します。
- **保存先設定**:保存先を設定します。
 - SDカード挿入時は、保存先設定が変更可能です。
- **解像度**:静止画/動画の解像度を切り替えます。
- **設定リセット**:設定をリセットします。

[保存先設定]について

- 本製品を管理者以外のユーザーやゲストが使用している場合、保存先は本体のみとなります。

フォト

静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[フォト]

2 データを選ぶ

- データをゴミ箱に移動: データをロングタッチ▶[🗑️]▶[ゴミ箱に移動]

3 データを確認する

- 「フォト」アプリはPlayストアより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ▶[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。
- 不要な静止画や動画はゴミ箱に移動しても、本製品からは削除されていません。ゴミ箱を空にすると本製品から削除できます。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

■ ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[ゴミ箱]

2 [:]▶[ゴミ箱を空にする]▶[完全に削除]

本体設定

設定メニュー

ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]と操作して表示されるメニューから、本製品の各種設定を行うことができます。

- 本体設定を表示中に「設定を検索」欄をタッチ▶検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続設定	Bluetooth機能などについて設定します。
アプリ	アプリについて設定します。
通知	通知について設定します。
バッテリー	電池の利用状況の確認や設定、バッテリーセーバーの起動などを行います。
ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
音とバイブレーション	メディアの再生音や通知など音についての設定やバイブレータの動作について設定します。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。

壁紙	ホーム画面やロック画面の壁紙を設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
セキュリティとプライバシー	画面ロックやアプリに許可する権限などセキュリティとプライバシーについて設定します。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
緊急情報	緊急情報や緊急 SOS、緊急速報メールなどについて設定します。
パスワードとアカウント	アカウントの追加や設定、データの同期、アカウントに保存したパスワードなどについて設定します。
Digital Wellbeing と保護者による 使用制限	本製品の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、本製品の使用制限について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
タブレット情報	タブレット情報の確認ができます。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

タブレット情報

タブレット情報の確認ができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定] ▶[タブレット情報]

2 項目を選ぶ

- **デバイス名**: デバイス名を変更できます。
- **電話番号**: 電話番号を確認できます。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **規制ラベル**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **電池の状態**: 電池の状態を確認できます。
- **SIM のステータス**: SIM の情報を確認できます。
- **モデル**: モデル名やシリアル番号などを確認できます。
- **EID**: EIDを確認できます。
- **IMEI**: IMEI情報を確認できます。
- **Android バージョン**: Android バージョンなどを確認できます。
- **IP アドレス**: IPアドレスを確認できます。
- **Wi-Fi MAC アドレス**: Wi-Fi MACアドレスを確認できます。
- **デバイスの Wi-Fi MAC アドレス**: デバイスのWi-Fi MACアドレスを確認できます。
- **Bluetoothアドレス**: Bluetoothアドレスを確認できます。
- **稼働時間**: 端末の稼働時間を確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定] ▶[お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **使いこなしガイド**: シャープのサイトに接続し、本製品を使いこなすための各種情報やコンテンツを確認できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。セルフチェックの詳細についてはP.35「セルフチェック」
- **電源メニュー**: 電源メニューを表示します。

■ セルフチェック

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定] ▶[お困りのときは]▶[セルフチェック]

- セーフモードで再起動:[:]▶[セーフモードで再起動]▶[OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ]／[診断したい箇所を選ぶ]

- [ストレージを確保する]をタッチすると、アプリが一時的に使用しているキャッシュを削除して、空き容量を確保します。
- [よくあるご質問]をタッチすると、シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止:[スキップ]▶[診断中止]
- 診断項目のスキップ:[スキップ]▶[スキップ]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

7 [診断を終了する]

データ通信

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。

- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 電車内
 - 航空機内
 - 病院内
 - 自動ドアや火災報知機から近い場所
 - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- システムをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはシステムをアップデートしてください(※P.42「システム アップデート」)。
- 端末のセルフチェックを行ってください(※P.35「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙のお問い合わせ先にご相談ください。

■ 電源

症状	チェック項目
本製品の電源が入らない	● 電池切れになっていませんか。(※P.14「充電」)
画面が動かない、電源が切れない	● ◻(電源キー) + ◻(+)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。 ● 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェック項目
充電ができない	● ACアダプター (別売)の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ● ACアダプターと本製品が正しくセットされていますか。(※P.15「ACアダプターで充電」) ● ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターのType-Cプラグと本製品がしっかりと接続されていますか。(※P.15「ACアダプターで充電」) ● パソコンとUSB Type-Cケーブル (市販品)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ● 充電しながら通信やその他機能の操作を長時間行くと、本製品の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本製品の温度が下がってから再度充電を行ってください。(※P.14「充電時のご注意」)

■ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本製品や内蔵電池、充電用機器が温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.14「充電時のご注意」
電池の使用時間が短い	- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありません。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞P.16「電源を切る」 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.45「主な仕様」 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。☞P.44「保証について」 - 使用していないアプリは終了してください。 - 使用していない無線機能はOFFにしてください。 - バッテリーセーバーを利用すると、電池の消費を抑えることができます。

症状	チェック項目
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	端末の電源が切れていませんか。☞P.16「電源を入れる」
タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
SIMを認識しない	eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの設定については☞P.12「eSIMのSIM情報を設定する」
時計がずれる	長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日時を自動的に設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。
端末動作が不安定	お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード※で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)	- 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。 - アプリの動作に必要な権限を設定していますか。 - アプリのバッテリー使用量を[制限]に設定していませんか。

※セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。

- セーフモードの起動方法

電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でロック画面が表示されるまで[(←)]を押し続けてください。

※電源を入れた状態で[(電源キー)] + [(+)] ▶ [電源を切る] / [再起動] をロングタッチ ▶ [OK] と操作しても、セーフモードで再起動ができます。

また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。P.35「セルフチェック」

※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。

※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ウィジェットによっては消去される場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	- 画面の点灯時間を短く設定していませんか。 - ディスプレイの明るさを変更していませんか。 [明るさの自動調節] をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。 [バッテリーセーバー] をONに設定していませんか。

■ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	パスワードとアカウントの設定でGmailが自動的に同期しないように設定していませんか。

■ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。P.27「カメラをご利用になる前に」

■ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本製品が使えない	• 本製品は日本国内でのみ使用可能です。

■ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	• USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。 • USB接続の用途を正しく設定していますか。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを取り付け直してください。 P.13「microSDカード」
画像が正しく表示されない	• 画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

■ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	• Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本製品側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本製品双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
通信サービスはありません	eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの設定についてはP.12「eSIMのSIM情報を設定する」
xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした	何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に 표시됩니다。
空き容量わずか	本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
応答が無いため接続が中断されました	メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に 표시됩니다。しばらくたってから送信し直してください。
サーバーエラー 送信できませんでした	
接続エラー 送信できませんでした	
送信先サーバーが対応していません	
通信エラー しばらくたってから送り直してください	
しばらくお待ちください(データサービス)	パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
しっかりと指紋センサーをタッチしてください	指紋の読み取りに失敗した場合に表示されます。
認識されませんでした	
指を離してから、もう一度センサーに触れてください。	
指を離すのが早すぎます	

システム アップデート

本製品のシステム アップデートが必要なかをネットワークに接続して確認し、必要に応じてアップデートファイルをダウンロードして、システムをアップデートする機能です。

- システム アップデートが必要な場合は、端末上あるいはシャープ株式会社のホームページにてご案内いたします。
- システム アップデートは、本製品に登録した連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- システム アップデートには大量のパケット通信が発生することがあります。Wi-Fi通信を利用できる場合は、Wi-Fi通信を利用してアップデートすることをおすすめします。

ご利用にあたって

- システム アップデートに必要な電池残量がないときはシステムをアップデートできません。システム アップデートを行う際は、電池をフル充電しておいてください。アップデート時は充電しながら操作することをおすすめします。
- システム アップデート（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- システム アップデート中は、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。
- システム アップデートは電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、システム アップデートを中断することがあります。
- システム アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- システム アップデートの際、お客様の本製品固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のシステム アップデート用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、システム アップデート以外の目的には利用いたしません。
- システム アップデートに失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- システム アップデート中は、他のアプリを起動しないでください。

システムのアップデート

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[設定]▶[システム]▶[システム アップデート]

- システム アップデートが必要な場合は、システム アップデート用データをダウンロードすることができます。以降は画面の指示に従って操作してください。
 - ステータスバーに[>]が表示されている場合は、ステータスパネルからシステム アップデートを利用することができます。
- システム アップデートの必要がないときには、[お使いのシステムは最新の状態で]と表示されます。
 - アップデート中は、すべてのキー操作が無効となります。アップデートを中止することもできません。
 - システム アップデートに失敗したときや中止されたときは、システム アップデートを実行し直してください。

保証について

修理を依頼されるときは

修理については、付属のクイックスタートに記載の「保証について」をご確認ください。

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。
- 本製品の本体以外の付属品や試供品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中

当社無償修理規定に基づき、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

主な仕様

■ 本体

サイズ		高さ:約170mm、幅:約246mm、厚さ:約8.3mm
重量		約481g
ディスプレイ	サイズ	約10.1インチ
	種類	TFT
	解像度	WUXGA (1920×1200)
内蔵メモリ※1		RAM 4GB/ROM 64GB
バッテリー容量		6680mAh
連続待受時間 (静止時)※2	LTE	約860時間
充電時間		ACアダプター (SH-AC05) (別売):約160分
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数 帯:2.4GHz/5GHz)
カメラ	有効画素数	リアカメラ:約800万画素 インカメラ:約800万画素

※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。

※2 連続待受時間は、電波を正常に送受信できる静止状態での目安です。
データ通信などによって、待受時間は、短くなります。電池の充電状態や使用環境、利用場所の電波状態などにより、待受時間が半分程度になる場合があります。

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種SH-T04Cは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は1.146W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。が、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

シャープ株式会社のホームページ

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 5G/4Gと同時に使用可能な無線機能を含みます。

CAUTION

Use only specified AC adapter (sold separately).

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

For details on optional parts, refer to the following website.

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/>

Do not throw the handset into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the handset in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. It may also cause damage to the environment. For details on the unnecessary handset, contact the "company or outlet listed on the warranty card" or follow the instructions by a local institution that handles used handsets.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 35% and 85%.

Refer to the following for details on using it at a bathroom.

※ P.6 “SH-T04Cが有する防水／防塵性能でできること”

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Bluetooth function

- Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

輸出管理規制

本製品および付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C®はUSB Implementers Forumの商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, Wi-Fi Direct®, Miracast®, Wi-Fi Protected Access® (WPA)はWi-Fi Alliance®の登録商標です。WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のためにOpenSSLプロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- LDACおよびLDACロゴはソニー株式会社の商標です。



- Google、Google ロゴ、Android、Google Home、Google Home ロゴ、Google Pay、Google Play、Google Play ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Chromebook、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、YouTube、YouTube ロゴ、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ、Google ドライブ ロゴ、Google 検索、Google 検索 ロゴ、Google レンズ、Google レンズ ロゴ、Google フォト™、Google フォト ロゴ、Google アシスタント、Google アシスタント ロゴ、Google TV™、Google TV ロゴ、Google One、Google One ロゴ、Google ニュース、Google ニュース ロゴ、Fitbit™、Fitbit ロゴ、Google スプレッドシート、Google スプレッドシート ロゴ、Google スライド、Google スライド ロゴ、Google ドキュメント、Google ドキュメント ロゴ、Google Play ブックス ロゴ、Google Meet™、Google Meet ロゴ、Android Autoは、Google LLC の商標です。
- 「AQUOS／アクオス」、「AQUOS Home」、「AQUOSかんたんホーム」、「リラックスビュー／RelaxView」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。



- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り) を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)をご参照ください。
- 本書では各OS (日本語版) を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro、Enterprise、Education) の略です。
 - Windows 11は、Microsoft® Windows® 11 (Home、Pro、Enterprise、Education) の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [設定] ▶ [タブレット 情報] ▶ [法的情報] ▶ [サードパーティ ライセンス] をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<https://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

お問い合わせ先

- 下記URLでご使用中の製品に該当するお問い合わせ先をご参照いただき、ご連絡ください。

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/>



製造元:シャープ株式会社